



7月の歳時記(文月/July)

風鈴の音色に涼を感じるこの頃！



★ 土用干し

土用と聞いてどんなイメージを持つでしょうか？
うなぎを食べる日や梅干を干す日など連想すると思
いますが、そもそも「土用」は日本独自の雑節の一つで
四季の終わり、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前の18日間の事。
この間は、「土公神(どくじん)」と呼ばれる神様が、春は竈、夏は門、秋
は井戸、冬は庭、夫々の地中にいとされています。
土用の期間は、土をつかさどる土公神の支配下にあり「土いじり全般」
「新しい事」「方角に関する事」を行うことは縁起が悪いとされています。
しかし、神様が土を離れる日があります、春は「巳・午・酉の日」、夏は
「卯・辰・申の日」、秋は「未・酉・亥の日」、冬は「寅・卯・巳の日」この日
は間日といい制約がなくなります。ちなみに土用殺(方角が凶)というの
もあり、冬土用/北東、夏土用/南東、秋土用/南西、冬土用/北西です。
いずれも、季節の変わり目にあり、体調を崩しやすい時季でもあるため
旬のものを食べて、体をゆっくり休める期間といわれています。

ところで「土用干し」、文字通り物を干す行事。概ね夏土用の時季、梅雨明けの時期と重なり、たっぷり湿気を吸い込んだ衣
服や書籍など干すのにちょうどよい時季です。旧暦で8月は秋、夏物をしまい秋・冬物の準備する時期でもあります。
夏土用は、1年で一番暑く紫外線も多く自然の力で湿気を飛ばし細菌の繁殖・カビを防いだりできます。
梅干は梅雨明けに干し(三日三晩)保存力を高めます。水田は乾かし土中の有害ガスを抜き酸素を補給し強くします。
最近では、エアコンや乾燥機の普及で昔ながらの風習はなくなりつつありますが、季節の変わり目を実感するためにも、自然に
優しく丁寧な暮らしをすることで心身を整えていくためにも、大切な風習であり未来に継承したいものです。
今年の夏土用/丑の日は、7月24日、8月5日です。「う」のつく食材「ウナギ」を食べて暑い夏を乗り越えましょう！



★ こよみ: 半夏生(1)、小暑(6)、七夕(7)、海の日・旧盆(15)、藪入り(16)、大暑(22)、土用の丑の日(24)、

I 全国労働安全週間(7/1~7)

**危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽
みんなで築く職場の安全**

労働災害防止のため「自主的な活動の推進」「安全意識を高め、安全維持活動」の定着を図る。具体的な活動としては、職場において労使双方が協力して「基本ルールの徹底、遵守、実行」する事が重要なポイントとなる。特に、「転倒」「腰痛」といった労働者の作業行動に起因する災害があとを立たないことから、緊張感を持たせ漫然行動を抑止する。管理・監督者による指導及び注意喚起、パトロールによるフォローを行う。



II 第24期株主総会開催(6月19日)

1. 報告事項及び議案 全議案及び報告事項全て承認頂く
2. 役員選任(臨時取締役会で承認)

代表取締役社長	齊藤 明敏(新任/前(株)ADEKA明石工場長)
取締役会長	佐藤 正(異動/前代表取締役会長)
専務取締役	矢島 哲雄(重任/管理部長)
社外取締役	田中 利彦(新任/旭新運送(株)取締役)
社外監査役	渡邊 健一(重任/(株)ADEKA化学品工場長)

※前社外取締役 金生谷良男氏は退任されました

齊藤新社長就任 !!
皆様方のご協力・ご支援により
引続き無災害で、明るく自由
闊達な職場を築きましょう。

III 熱中症に注意！

WBGTを活用しよう
重症化は早い
『オヤツ』と思ったら
迷わず病院搬送！



あの時にやってよかった 一声・一手間・一確認！

ご安全に！